

広島市植物公園

見どころ案内

コウヤボウキ (キク科)

高野山では、弘法大師が竹を植えることを禁じました。竹ぼうきの代わりに枝を束ねてほうきにしたので名がつけられました。うらら池沿いの小道で花が咲いています。

バラ園 (バラ科)

四季咲きのバラが咲いています。春にくらべると花は小さめですが、色が濃く香りも高いようです。奥の斜面の野生種の多くは実が色づきました。

秋の洋ラン展-描かれた蘭-
10/19(土)~11/4(月)
特別企画展で展示中の『蘭花譜』やポタニカルアートなどに描かれているランを集めました。蘭花譜展とあわせてお楽しみください。

特別企画展 **蘭花譜展**

9/14(土)~12/23(月・祝)

展示資料館 1階展示室にて開催
「蘭花譜」は、ランの収集家 加賀正太郎氏が人生をかけて監修・制作した104枚の植物図譜です。うち83枚が浮世絵の木版画の技法で印刷されました。一流の、蘭の収集家、栽培家、日本画家、木版の彫師、摺師が作りあげた幻のコレクションを前・中・後期に分けてすべて展示します。芸術的にも大変価値のあるカラー図譜です。

※11/21(木)まで中期 展示中!
後期は 11/23(土)から



エッチュウミセバヤ (ベンケイソウ科)

ミセバヤによく似ています。葉の形で見わけます。エッチュウミセバヤはレモン型で、ミセバヤはホタテ貝型です。エッチュウミセバヤのほうが育てやすいためか、園芸店で「ミセバヤ」の名で売られていることもあるようです。

ツルタイワンホトギス

(ユリ科) タイワンホトギスの変種です。茎が細くてしなやかなので名がつけられました。花びらの先の青い色がきれいです。

イトラッキョウ (ユリ科)

長崎県の平戸島に特産するラッキョウに似た多年草です。葉が糸のように細いので名がつけられました。紀伊半島などに自生しているキイトラッキョウは、花が半開きでおしべが長く、花茎が葉より短いのが特徴。

キク展

10/26(土)~11/10(日)

屋外展示場にて開催
中国で作られた園芸品種や国内の野生種などを多数展示中!

紅葉 おくれていましたが、紅葉が始まりました。丘の上の高木の並木は北アメリカ原産のモミジバフウ(マンサク科)です。アメリカフウとも呼ばれます。周辺には、トチノキ(トチノキ科)、カリナポプラ(ヤナギ科)などがあります。

